

【支部総会報告】

2024 年度学友会山口支部総会・親睦会報告

評議員 井上 淳(58 回生)

2024 年 11 月 9 日(土)、かのニューヨークタイムズ紙に選ばれた『山口市』にある防長苑にて、22 名の会員を迎え 2024 年度学友会山口支部総会・親睦会が開催されました。前回開催が 2017 年でしたので 7 年ぶりの開催でした。

はじめに開会のあいさつが土井博志支部長(59 回生)からあり、引き続きご来賓の紹介がありました。このたびは 笠井俊文学友会顧問(49 回生)、大学事務局の森 俊博様、朝子浩文様にお越しいただきました。

総会にご来賓の森様より大学の近況が詳細に紹介され、海外交流が活発に行われていることや資格取得のための奨学金制度があることなど知ることが出来ました。その後支部長より新役員の紹介、支部の活動報告がありました。



休憩をはさみ「わが病院自慢」と題しまして濱野裕也氏(短 19 回生)と元谷伸哉氏(大 10 回生)より勤務先紹介がありました。

総会最後のプログラムを島津製作所京都本社の田中修二様より『我が国での重要な歴史である第三高等学校・村岡先生と島津製作所』と題して講演いただきました。

講演の内容は割愛させていただきますが、これまで知らずともしていなかった「島津製作所とエックス線管・装置の関わり始め」を教えてくださいました。私は心の中で「へえ〜、そうだったんじゃあ」とつぶやいてしまいました。

総会も盛会のうちに終わり、別室に移動し前支部長の伊藤實穂氏(53 回生)に乾杯のご発声をいただき開宴となりました。

老いも若きも皆久し振りだったり、初めての顔合わせだったりでしたが、大変な盛り上がりでした。

中盤に予定していました自己紹介が「巻き」の指示が出るほどで皆の PR が終わった頃にはお開きの時刻となってしまふ始末でした。

田中輝男氏(49 回生)の音頭による万歳にて宴会のお開きとなり 皆再会を約束して家路へ、また久しぶりの再会を楽しむべく 2 次会へと向かいました。本当に楽しい時間を過ごさせていただきました。お越しいただいた来賓の方々、参加いただいた会員の皆様、また総会開催のお世話をいただいた島津製作所の方々に深く感謝申し上げます。



以上